

まずは体験！ パソコンノートテイクを体験しながら学ぶ講座

はじめての ノートテイクー養成講座



ノートテイクー=筆記通訳

聴覚障害を持つ学生さんの授業支援として、授業の情報を保障する「筆記通訳」。
本学で採用しているノートテイク（パソコンノートテイク）の技術を体験しながら学びます。
ノートテイクを必要とする聴覚障害学生がいる場合には、支援してくださる方を募集する予定です。
(どんなものか知りたい) (ちょっとやってみたい!) という方も大歓迎！
まずは気軽に体験してみませんか？

2026.11/19 (木) @JWU ラーニング・コモンズかえで
13:30~15:30 (百二十年館地下1階)

先着 30 名

- 講師 筑波技術大学 障害者高等教育研究センター講師
- 対象 全学年（全学部生・大学院生）
- 持ち物 PC

- 申込み JASMINE-Navi でご案内しています。
- 締切 11月4日(水)
- 定員 30 名に達し次第締切

こんな風に支援を行います

- Q:どんな風に入力したらいいの？
A: T-TAC Caption2 という初心者でも使いやすい専用のシステムを使います。
- Q:タイピングが得意ではないので先生の話聞き逃しそうです。
A: 聴覚障害学生は、皆さんのノートテイクの他にも、別の支援機器・媒体を使用して、授業の内容を文字情報として取得することがあります。そのため、100%聞きとれず単語や短い文章でも、誤字や変換ミスがあっても大丈夫です。また、1回の授業を複数名のノートテイクーで支援する場合もあります。複数名での連係の方法は養成講座で説明があります。
- Q:毎週コンスタントに参加できないかもしれません。
A: ノートテイクーご自身の予定を優先してください。応募したら毎回の授業に必ず参加しなければならないということではありません。お休みする場合は、予定が分かり次第早めに連絡するようお願いしています。

ノートテイクー①→
ノートテイクー②→ 入力スペース
ノートテイクー③→



T-TAC Caption 2(開発:筑波技術大学 三好茂樹)

- Q:授業のない日は大学に来ていません。
A: T-TAC Caption2 では遠隔での支援が可能です！
現在活躍中のノートテイクーの皆さんも、教室で授業を聞きながら、学内の別の場所から、自宅から、など支援の場所は様々です。

養成講座に参加したからといって、必ずノートテイクーをしなくてはならないわけではありません。
皆さんの教養として気軽にご参加ください。